



# 鞆の浦学園だより



No.12  
2021年(令和3年)10月5日

## 「みんながそろうのは、いいな！」

～ このように言えるあなたは、なんて素敵なのでしょう！ ～

久しぶりに全員がそろう学校生活です。

「みんながそろうのは、いいな！」

10月の初日、登校してきたある子が下駄箱の靴を見ながら思わず出た言葉です。みんなに会える喜びが伝わってきます。なんて素敵な言葉なのでしょう！そして、このように言えるあなたは、なんて素敵なのでしょう！

9月は、学級で友達と一緒に過ごせた学年もあれば、そうでない学年もあります。一緒に過ごせない体験をしたから、みんながいる良さを改めて実感できたのかもしれない。

毎日の生活では、傷つけたり傷つけられたりすることがあるかもしれません。嫌な思いをまわりにさせたことに気付くこともあるでしょう。「ごめんなさい。」と謝ることができる、そして謝られることができる学級・学校は、やはり安心感のある居場所なのだと思います。

ところで、10月末に運動会を予定しています。実行委員会は5月から活動をしています。先日、「運動会実行委員通信 第1号」が出されました。

僕たち運動会実行委員では、今までにない運動会を創りたいと考えています。そのためには、鞆の浦学園一人一人が考え責任をもって行動する必要があります。コロナ禍で、できることや制限されることが必ずあります。その中でも、最高の運動会にしましょう……。



運動会練習が始まりました。タブレットで動画を確認しながら動きを覚えます!

8月末、実行委員の子ども達は、家庭から学校の教職員にオンラインで企画の提案をしました。「すごい！」と思いながら見ていましたが、さらに教員との質疑応答も立派で、素晴らしいエネルギーを感じました。

考える力は、満ち足りた安定した生活につかっていると、思うように育たないのかもしれない。コロナ禍のように制限されることが多い中、それをなんとか乗り越えようと本気になる時、思考力は磨かれるのかもしれない。

今までにない運動会を創りたい、その思いをしっかりと受け止めましょう。こうした時代の運動会をどのように創ろうと努力するか、実行委員そして全校一人一人の思い・動きを見守り、支えます。そこにはきっと次世代の運動会の姿があります。

## 変化の激しい時代に生き抜く力を。

分散登校が終わり、学校生活も今までの生活を取り戻しています。リモートによる授業は、児童生徒達も先生方にとっても試行錯誤の連続でした。画面越しに「挙手ボタン」を押して発表しようと頑張る児童や、スピーカーから「先生！質問！」と呼びかける声も耳にしました。

分散登校中にお願した保護者アンケートの中に、

- ・「リモート学習は、能動的になりにくい」
- ・「音声トラブルや雑音等により、授業の理解力が低下しているのでは」

という回答が寄せられました。それらの課題に対して教室をのぞいてみると、

- ・「話し合いは音声だけでなく、チャット(=文字)も活用している」
- ・「ミートの部屋を複数用意して、少人数でも話し合いができるようにした」

といった声が聞こえてきました。学園のみんなで知恵を出しあい、できることからクリアしています。私達の挑戦は続きます。

「当たり前の生活に感謝の気持ちを持って、一日一日を大切に過ごしていこう」とあるクラスの黒板メッセージです。一緒に勉強できるのは、うれしいことですね。



1・2年生の机の移動を9年生の皆さんが手伝いました。ありがとう！



久しぶりに全員が集まった教室。大騒ぎはできませんが、嬉しさがこみあげます。



部活動も再開です。11/6～/13にある新人総体に向けてやる気アップ！

### 第70回備後地区生徒児童発明くふう展 表彰！

夏休み中に取り組んだ作品が表彰されました。みなさんおめでとうございます！

優秀賞「なんかすずしくなるやつ」  
6年藤井奏音さん



努力賞 6年橋本 周さん  
神垣光甫さん  
(共同)

努力賞 5年田吹悠人さん  
福山南ロータリー賞  
鞆の浦学園(団体)

### 英語暗唱スピーチコンテスト に出場します！

10/16にあるコンテストに向けて、放課後暗唱練習に励んでいます。



8年山本八依さん、  
9年山川寿珠さん  
頑張ってください！  
You can do it!

